

# 平成 30 年度「COC 活動外部評価」結果報告書

## 1. 地域連携活動について

### (1) すこやか教育

「WE LOVE 鹿児島！」については、大学の授業科目に必修科目として設定し、地域のことを知り学び、そして、それを発展させた形で学生の手作りとして小冊子「おごじょたん」としてまとめる取り組みは、学生が鹿児島をじっくりと考える良い機会だと思います。また、鹿児島市では、中央駅・天文館・本港区での再開発など大規模プロジェクト構想が進みつつあり、街が大きく変わる時期に来ていますので、郷土の歴史をまなびつつ、将来のまちづくりを学ぶような内容も取り入れるなど、今後もこの授業科目を継続しながら発展させ、鹿児島に愛着を持つ学生を育ててほしいと思います。

インターンシップについては、学生の意向や受け入れ側の事業所の意見なども聞く中で人生の進路を判断する貴重な体験となるよう更なる取り組みをお願いします。

### (2) すこやか生活

すこやか生活分野の公開講座については、大学の地域貢献という観点からも必要な取り組みでありますので、今後も、受講者の意見や地域ニーズなどを的確に捉えながら、講座内容を充実していただければと思います。

ボランティア活動への参加は、社会人への一歩として貴重な経験となりますので、より多くの学生が参加できるよう大学側のサポートをお願いします。

### (3) すこやか研究

すこやか研究の分野におきましては、先生方のそれぞれの専門分野での研究成果を社会に還元し、教育や地域の方々の生活の向上のために役立てていただくことを期待します。

### (まとめ)

総体として、大学と学生、行政、地域企業が連携し、地域住民も参加する中で、地域に密着した鹿児島女子短期大学の特徴を活かしながら、COC活動が展開されていることを評価いたします。今後におきましても、活動内容を絶えず検証するとともに、情報発信にも努める中で、鹿児島を意識した「教育」「研究」「地域貢献」に取り組み、知の拠点としての役割が果たせるようよろしくお願いします。

## 2. 私立大学研究ブランディング事業について

「今こだけ講座」は、薩摩藩の歴史と食を切り口に、地域住民、学生が一緒になって取り組む、非常に興味深い内容になっています。

スマイル食育プロジェクトでは、企業などとも連携を図りながら、食材の栽培収穫から商品やレシピの開発など様々な観点から取り組まれており、地域連携、地域貢献という点では大いに評価できるのではないかと思います。

かごしま郷土料理ジュニアマイスター講座は、歴史と伝統のあるふるさとの食・味を次世代に繋いでいく上からも非常に重要な取り組みであります。

鹿児島の食アンバサダーの認定は、鹿女短の持っている特徴を生かした独自の取り組みであり、今後卒業生が各分野で活躍していく中で、ふるさと鹿児島の食文化を伝承する大きな役割を果たしてくれるものと思います。今後は、アンバサダーを多くの方に知っていただくことが重要であると考えます。

また、この活動の目的である、食育の情報と技術の発信拠点となる食育ステーションの構築に向けて、今後も、様々なテーマで地域とともに、ふるさと鹿児島の食文化を育て、守り、広げ、繋いでいく取り組みを期待しています。

平成 31 年 2 月 22 日

鹿児島女子短期大学 COC 活動外部評価委員会  
委員長 鶴丸昭一郎